

消費と生産のバランス

黒田インターナショナル

黒田 毅

豊かな生活は、その供給を基盤とする。これは企業活動における生産基盤が豊かさを与えるのである。それは自己収入と生活の構築が、現実においてそれら豊かさを創造する。

これらはグローバル市場の統一化と自由貿易システムにおける市場の統一が、新たな豊かさを創造する。

他方においては第3諸国における現実が存在する。これらは需要と共有の正しいバランスが、地球における環境問題の解決とともに豊かな生活を維持することができる。

また資本収支における正しいバランスは、国内における富の構築を可能とする。これらは生活の維持が、正しい経済政策において唯一可能であることを証明する。

これは、生活基盤は、それら生活の構築が、確固で安定する経済基盤において実現されなくてはならない。これは、需要と共有がその正しいバランスを要求するということなのである。

これら資本収支と貿易収支は、富の移動を表すのであり、豊かさは必ず富において可能である。

これは世界における経済環境が、自己生活と密接に関連することであり、政治に頼らない生活の構築と企業構築は、他方において必ず要求される。

富は決して搾取において求めてはいけない。それは正しい労働対価でなくてはならないのである。

搾取は必ず枯渇するのである。それ故に労働への正しい価値観は、正しい社会と生活を可能とするのである。

これらは社会の循環が、正しいバランスにおいて唯一可能であることであり、国家における正しい経済政策は、これを可能とするのである。